

多摩川の名脇役

「多摩川50景」に選定された多摩川中流部の取水堰

21. 日野用水堰 (左岸：昭島市大神町/右岸：八王子市平町)

日野用水堰は所在地の地名から「平の堰」・「大神の堰」とも呼ばれています。多摩川の河口から45.2km付近に位置しているこの堰は、1962年（昭和37年）に今日の農業用水堰として完成しました。堰完成当初はプールタイプ魚道の一つである扇型魚道[*1]が設置されましたが、魚道の構造の問題と堰の下流側と河床の落差が大きかったことが理由で魚の溯上を妨げていたため、ハーフコーン型という新しいタイプの魚道[*2]に変更・改善しました。



(左から時計回りに)

右岸から見た日野用水／右岸に設置された取水口／左岸側の魚道／右岸側に設置された可動堰／日野用水石川堰 (写真-H20.10撮影)

九ヶ村用水組合との用水堰論争ー・ー・ー・ー・ー・ー

日野用水は江戸時代以前に作られたとされていますが、江戸時代中期に日野領七ヶ村用水組合[*3]と拝島領九ヶ村用水組合[*4]との間で、用水堰をめぐる争いが起こりました。九ヶ村用水は古くから、熊川村（現在の福生市熊川町）で堰入れした多摩川の水を拝島村（現在の昭島市拝島町）から取水して灌漑に用いていたのですが、七ヶ村用水組合がその堰の上に新堰用水を設置したため、九ヶ村用水の水が妨げられるようになったのです。この事が争いの発端となり、1710年（宝永7）に九ヶ村用水組合は七ヶ村用水組合を訴えました。



用水堰・取水口の位置

一方七ヶ村用水組合は、「当方はこれまで高月村（現在の八王子市高月町）の村内を流れてきた多摩川支流の秋川の水を利用して^{つきどめ}いたが、高月村が水を築留[*5]してしまった事」、「九ヶ村用水組合の堰場は昔から拝島村の前ではなく、熊川村前にあったが、1710年（宝永7）の春に七ヶ村用水が流れていた下に堰を作った事」が原因で水が流れて来なくなった事を理由に新堰用水を設置したと主張しました。

しかし幕府の調査によって、九ヶ村用水の堰場が拝島村の前にあったことや高月村の「築留」についてもこれまで七ヶ村用水組合から陳情がなかったことが明らかになり、七ヶ村用水組合の言い分は通らず「九ヶ村用水の上に新しく堰を設置してはならない」との裁決が下されました。

日野用水はこの論争がきっかけとなり、今日の八王子市平町からの取水口が公的に確定しました。その取水口は数回の改修を経て、1962年（昭和37年）に今日の日野用水堰が完成したのです。用水をめぐる論争は幕末にもありましたが、母体となる日野領七ヶ村用水組合が結束して関連する小域の用水管理も行っていくことによって、このような争い事を乗り越えていきました。ちなみに取水口のあった日野の「平村」は、日野用水堰に取水口が変わった際、堰がある八王子の「平町」がその昔は「平村」という名前だったために「南平」に名前の変更を余儀なくされたそうです。



九ヶ村用水取水口跡

昭島のシンボルと独特の地形ー・ー・ー・ー・ー・ー

1961年（昭和36）に八高線多摩川鉄橋付近でアキシマクジラの化石が発見されました。化石が埋没していた地層から、今から約160万年前の旧石器時代の化石とされていますが、このことから大昔この辺りは海であったことが分かっています。昭島市の武蔵野台地は多摩川に向かって緩やかな傾斜が続いていて、立川段丘の崖にあたるため、湧水に恵まれています。この環境のおかげで古くから人が住んでいたと見られ、縄文時代の土器の出土や集落遺跡の発掘などからも先人の暮らしを伺うことができます。



八高線多摩川鉄橋
付近の多摩川

また、八高線多摩川鉄橋から多摩大橋付近の多摩川に突出した岩板は、第三紀鮮新世小宮砂層という約1200万年前の海底に堆積した砂や泥で出来ていて貝や魚の化石が出ることがあります。このような特徴を持った岩板が広く露出しているのはこの付近の特徴でもあり、この地域一帯は「多摩川八景」にも選定されています。

日野用水堰	施工年月	管理者
	1959年（昭和34）	日野用水土地改良区

*1 扇形魚道

- ・・・ 傾斜水路（斜路）式魚道の下流側の入り口を扇形に開いた形式で、入り口が広いため魚が入りやすいが、広い分流れが拡散して水の勢いが減るので、魚にとっては水の流れを感知しにくいというデメリットもある。

*2 ハーフコーン型魚道

- ・・・ 魚道の詳しい説明は、こちらをご覧ください。

*3 日野領七ヶ村用水組合

- ・・・ 日野本郷（現在の日野駅周辺）・下田村（市町村合併のため消滅）・万願寺村・新井村・石田村・宮村・上田村（現在の日野市の町名として現存）。現在の日野用水を利用していた集落。

*4 拝島領九ヶ村用水組合

- ・・・ 九ヶ村用水はかつて拝島村・田中村・大神村・宮沢村・中神村・^{ついじ}築地村・福島村・^{ごうじ}郷地村（全て現在の昭島市）・柴崎村（現在の立川市）の九村を灌漑していた。現在の昭和用水を利用していた集落。

*5 築留（ちくどめ）

- ・・・ 川の流れを堤を築いて堰止めること。